

座席番号	
受験番号	
氏名	
合計得点	

二〇二六年度 普連土学園中学校入学試験

二〇二六年二月一日実施

一日午前四科 国語 解答用紙 一

問題一

問一 ㉑ ウ ㉒ イ

問二 良心に従い、共通善の実現を目指して行動する人が一人でも多くなる。

問三 自分ひく ないか という主張

問四 みんなで力を合わせることで、現実を変える力を生み出すため。

問五 自分が声を上げた責任を問われるのを恐れたり、大勢に追従して安心感を得られたりするから。

問六 自分の答えに自信がない生徒。

周りが手を下ろしているのを見て手を挙げ続けることがためらわれた生徒。

問七 イ

問八 競争に残るために不正な手段さえ取るようになってしまったということ。

問九 エ

問題二

問一 ㉓ イ ㉔ ア

問二 ぼくがピアノレッスンに行かずに、携帯の連絡にもでなかったことで、行方がわからず心配していたから。

問三 もう「母さん」は「ぼく」の行方について心配していないということ。

問四 由希が「（母親がリイチの無事を知って）よかったあ」と、言ったことに対して、リイチがけんかしたことがよかったのかと返したことがおかしかったから。

座席番号	
受験番号	
氏名	
合計得点	

二〇二六年度 普連土学園中学校入学試験

二〇二六年二月一日実施

一日午前四科 国語 解答用紙 二一

問五
エ

問六
大智を「うらやましい」と思うようなところがあるとは思えない「ぼく」が、特に優れたところがあるようにも見えない大智をうらやんでいること。

問七
「合理的に考える」という自分の個性をよいことだと受け入れられ、自分に自信をもつことができたから。

問八
親だからといって必ずしも子供が考えていることが分かるはずはないから。

問九
オ

問題三

① 園 芸
② 季 節
③ 星 座

④ 同 盟
⑤ 体 験

⑥ あやま
⑦ たいふう
⑧ うたごえ

⑨ しよくじゅさい
⑩ たなばた

問題四

① イ
② ウ
③ ウ
④ イ
⑤ エ

⑥ イ
⑦ ア
⑧ エ
⑨ ウ
⑩ ア

問題五

① A キ
B う
② A ウ
B い
③ A ケ
B お

④ A エ
B あ
⑤ A カ
B く